

令和7年度 事業計画書

令和7年度 事業計画書

公益
1

長寿科学研究等支援事業

()は令和6年度当初予算

(1)長寿科学研究者支援事業 64,424,000円 (86,800,000円)

(1)-1.長生きを喜べる長寿社会実現研究支援 予算内訳 38,512,000円

令和7年度採択プロジェクト 実装研究(3年間の1年目) (47,063,000円)

エビデンスに基づく認知症予防プログラムの社会実装

～高齢者のQOL向上と持続可能なコミュニティ支援の確立～

J-MINT のエビデンスに基づいた実装版認知症予防プログラムを通じて、高齢者のQOL・認知機能を向上させる。プログラムが地域コミュニティに根付くための持続可能な運営体制を構築し、地域全体の健康と福祉を改善させるとともに、認知症の社会的コストの削減を目指します。

●プロジェクト代表者:櫻井 孝 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所長)

●助成額:30,000,000円/90,000,000円

令和6年5月から公募要領公開、7月末応募34件、書面審査及び1次、2次審査を経て、11月末に最終審査の上、上記プロジェクトを採択した。

令和8年度採択プロジェクト

-令和7年度(令和8年度助成)採択事業-

令和7年5月から公募要領公開予定、書面審査及び1次、2次審査を経て、11月末に最終審査予定

●助成期間・金額・件数:最大2年間、1,000万円/年 2件程度予定

●分類:(A:探索研究 B:実装研究 C:社会実装)

●公募テーマ:(令和6年度と同)

主課題:長生きを喜べる長寿社会の実現 ～生きがいのある高齢者を増やす～

キーワード

- ① 高齢者のQOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- ② 弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③ 認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④ 高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実装

長寿社会実現研究支援 審査評価委員会委員

委員長	駒村 康平	慶應義塾大学経済学部 教授
副委員長	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
委員	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター・センター長
委員	阿久津 靖子	一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事
委員	佐藤 久恵	学校法人国際基督教大学 評議員
委員	鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所代表理事・研究所長
委員	近藤 克則	千葉大学予防医学センター 特任教授 医療経済研究機構 研究部長
委員	長谷川 友紀	東邦大学医学部 教授

(1)-2. 高齢社会課題解決研究および社会実装活動への助成採択プロジェクト Google寄附事業 予算内訳 25,912,000円

プロジェクト最終報告会の開催及び広報

(39,737,000円)

●最終報告会の開催: 令和7年6月27日(金) 第34回日本老年学会総会(千葉県幕張)

① 高齢者のスマートフォン利用促進を介したアクティブライフ・コミュニティの形成

プロジェクト代表者: 島田 裕之

(国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター・センター長)

② "学び合い"プログラムを用いたデジタルスキルラーニング・エコシステムの開発と実装 ～多世代型互助によるスマート・インクルージョンの実現～

プロジェクト代表者: 瀧 靖之

(東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター・センター長)

③「ジョブボラ」の創出とデジタルマッチングの実装に向けた研究: 誰もが活躍できる社会を目指して

プロジェクト代表者: 村山 洋史

(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジングチーム・研究副部長)

機関誌エイジングアンドヘルスへの掲載、研究報告広報活動

●機関誌「Aging & Health」(エイジングアンドヘルス) 春号(4月配信)に特集「高齢者のデジタルデバイス解消プロジェクト」として掲載予定

内容: Google Japan 加山氏及び各プロジェクトの研究成果及び社会実装に向けた取り組みを紹介、併せて、老年学会総会会場において、配布予定のGoogle寄附事業報告(仮称)を作成

●プロジェクトの研究成果及び社会実装に向けた取り組みを広く一般の方々に周知していただくため、メディア等に発表する機会を設ける

高齢社会課題解決研究助成審査評価委員会委員

委員長	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター 理事長
副委員長	葛谷 雅文	名鉄病院 病院長
委員	大高 洋平	藤田医科大学医学部 主任教授
委員	篠崎 尚史	国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
委員	鈴木 みずえ	浜松医科大学臨床看護学講座 教授

(2) 長寿科学関連国際学会派遣事業

3,730,000円 (2,792,000円)

長寿科学研究に携わる若手研究者の育成を目的に、優れた研究成果をあげた若手研究者又は有望な研究を行う若手研究者に、海外で開催される関連する学会に参加する費用を助成します。1人20万円 10人程度 年間2回公募(各回5名)

上半期派遣(4月～9月)11月～ 公募 ・2月選考(審査委員会)

下半期派遣(10月～3月)6月～ 公募 ・8月選考(審査委員会)

令和7年度上半期派遣採択者（2月審査委員会 5名中 採択3名）

佐藤 綾美 (34歳)	東洋大学健康スポーツ科学部 栄養科学科 食理学ユニット 准教授	アメリカ老化学会第53回大会 アメリカ・アンカレッジ 5月11日～14日	長期間のビタミンC不足モデルにおける老化関連因子の変化
藤澤 壮志 (25歳)	国立長寿医療研究センター 健康長寿支援センター 研究補助員	アメリカ老年学会2025年 学術集会 アメリカ・ボストン 11月12日～15日	マーカースレスモーションキャプチャを搭載したリビングラボによる高齢者歩行解析
小島 理志 (23歳)	埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士前期課程1年	世界変形性関節症研究会議 2025 韓国・仁川 4月24日～27日	健常高齢者における骨髄病変の位置と歩行運動学的特徴との関連性

長寿科学関連国際学会派遣事業 審査委員会委員

委員長	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター 理事長
委員	秋下 雅弘	東京都健康長寿医療センター センター長
委員	石神 昭人	東京都健康長寿医療センター研究所 副所長
委員	上田 貴之	東京歯科大学 老年歯科補綴学講座 教授
委員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部長
委員	斎藤 民	国立長寿医療研究センター 老年学社会科学センター 部長
委員	真田 弘美	石川県立看護大学 学長

(3)若手研究者表彰事業

10,719,000円 (530,000円)

長寿科学研究に携わる若手研究者の研究活動を幅広く支援することにより若手研究者の育成と長寿科学の振興を図ることを目的として、優れた研究成果をあげた研究者を選考のうえ、「長寿科学賞」を贈呈するとともに、副賞として100万円の研究助成補助金交付をおこないます。日本老年学会を構成する7学会に依頼し、各学会から選考・推薦された若手研究者を表彰します。

●6月27日(金) 13:50～ 第34回日本老年学会総会 第3会場(千葉県幕張)

表彰対象者

所属学会（選考・推薦）	氏名	所属
日本老年医学会	田中 友規(38歳)	東京大学 特任助教
日本老年社会科学会	中川 威(40歳)	大阪大学大学院人間科学研究科 准教授
日本基礎老化学会	小林 正樹(38歳)	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 講師
日本老年歯科医学会	豆野 智昭(36歳)	大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座 助教
日本ケアマネジメント学会	畑 亮輔(41歳)	北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授
日本老年看護学会	山口 裕子(35歳)	神戸大学大学院保健学研究科 准教授
日本老年薬学会	浜田 将太(42歳)	一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 担当部長

第34回日本老年学会総会（千葉県幕張） 長寿科学振興財団関連プログラム

6月27日(金) 第3会場

12:00～ ランチョンセミナー Google寄附事業

島田 裕之:国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター・センター長

瀧 靖之:東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター・センター長

村山 洋史:東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジングチーム
・研究副部長

13:00～ 成果発表（令和4年度～6年度指定課題研究）

認知症におけるデータベース構築手法の研究:新飯田 俊平 国立長寿医療研究センター

13:50～

若手研究者表彰事業：7学会受賞者講演+「長寿科学賞」表彰

	第1会場	第2会場	第3会場	展示会場
6月27日 (金)	2F コンベンションホールA 800席	2F コンベンションホールB 800席	2F 国際会議室 680席	展示ホール8 (1/2)
8:00			(設営中)	
8:30				
9:00	開会の辞			
9:30	合同シンポジウム1 (120分枠) 寿命を考える	合同シンポジウム3 (120分枠) 認知症を再考する-共生と予防を深 化させるために-	合同シンポジウム5 (120分枠) 人生100年時代：フレイルに抗う ～先達から学ぶ、先達の悩みを聞く ～	優秀ポスター 貼り付け
10:00				
10:30				
11:00	総会 (20分枠)			
11:30	会長講演 (40分枠)			
12:00			冒頭挨拶 長寿科学理事長 大島伸一	
12:30	ランチョンセミナー（老年医） (50分枠)	ランチョンセミナー（老年医） (50分枠)	ランチョンセミナー（老年） 長寿科学振興財団 (Google寄附事業) (60分枠)	
13:00	特別講演 滝 (40分枠) ペア暮の楽しみ 飯塚 ペア暮と認知機能20分		認知症におけるデータベース構 築手法の研究 (50分枠)	
13:30		合同シンポジウム4 (120分枠) それぞれのウェルビーイングと多様な 居場所	長寿科学シンポジウム 7学会受賞者講演+表彰 (90分枠)	優秀ポスター 閲覧
14:00				
14:30	合同シンポジウム2 (150分枠) 野口五郎基調講演 シンポジウム 音の力、音楽療法			
15:00				
15:30			合同シンポジウム6 (90分枠) 食と栄養、「食べる」を再考する。	
16:00				
16:30				

(1) 機関誌の発行事業

16,815,000円 (15,956,000円)

WEB版機関誌「Aging&Health(エイジングアンドヘルス)」を財団ホームページと健康長寿ネットに年4回(春・夏・秋・冬)掲載・配信します。113号~116号発行予定(広報委員会審議選定)

主な内容

- 長寿に関わる研究について専門家が分かりやすく解説 -特集テーマ-
 113号(春) テーマ:「高齢者のデジタルデバインド解消プロジェクト」(Google寄附事業)
 114号(夏) テーマ:「貢献寿命の延伸」(令和4年度長生きを喜べる長寿社会実現研究)
 115号(秋) テーマ:「認知症アクションプラン・施策推進基本計画」
 116号(冬) テーマ:「新高齢者総合機能評価ガイドラインに基づく診療・ケア」
- 高齢になっても活躍されている著名人へのインタビュー 各号1名
 ・95歳古民家再生建築家 ・97歳弁護士 ・96歳アマチュアカメラマンなど 予定
- 各地域で高齢者に関わる取り組みを紹介 -地域の鼓動- 各号2ヶ所
 ・山形市(健康寿命をのぼそうアワード受賞) ・東京三鷹市(NPOシニアサロン)など
- 長寿科学に関する最新研究情報 (各号監修:井藤 英喜 広報委員会委員長)
- エッセイ(各号) 鎌田 実(一般財団法人日本自動車研究所長・審査評価委員会委員)
 佐藤 真一(大阪大学名誉教授・広報委員会委員)



109号



110号



111号



112号

(2)健康長寿ネット事業

6,254,000円 (7,647,000円)

主なコンテンツ

- 健康長寿とは:自分でできる健康長寿のための情報について
- 高齢者の病気:高齢者に多い病気・症状について
- 高齢者を支える制度とサービス:介護保険制度や利用できるサービスなどを紹介
- インタビュー・対談・特集・研究情報:機関誌で取り上げた記事を紹介
- エッセイ:機関誌で取り上げたエッセイに加え、健康長寿ネットだけの井口昭久先生と宮子あずさ先生の連載エッセイを掲載

■メールマガジンの発行 (年12回程度)

■運用保守業務委託

■品質検証支援業務委託

アクセシビリティ規格 WCAG2.0(JIS X8341-3:2016)「適合レベル AA」準拠



広報委員会の開催

機関誌、健康長寿ネット等財団の広報について審議をするために広報委員会を設置。
公益目的事業2【情報提供事業】に関する要な事項を定める委員会

令和7年度委員会3回程度開催予定

審議内容

- 機関誌「Aging&Health」掲載・配信「テーマ・候補者」選定等 117号～120号
- 財団広報について (ホームページリニューアルなど)

広報委員会委員

委員長	井藤 英喜	東京都健康長寿医療研究センター 名誉理事長
委員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
委員	飯野 奈津子	医療福祉ジャーナリスト
委員	櫻井 孝	国立長寿医療研究センター 研究所長
委員	佐藤 眞一	大阪大学 名誉教授
委員	鳥羽 研二	東京都健康長寿医療研究センター 理事長
委員	柳澤 信夫	全日本労働福祉協会 会長

(3) 長寿科学研究普及事業

4,650,000円 (4,650,000円)

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターとの連携により、毎年テーマを定め長寿科学研究に関する国際シンポジウムを開催。

- 第20回国立長寿医療研究センター国際シンポジウム

日程:令和7年11月・12月頃

テーマ・場所 : 未定